

令和元年度市町老連 女性・若手リーダー研修会

老人クラブが組織として活動を続けていくためには、常に新しい仲間を迎え入れ、時代に即した活動を行うための若いエネルギーを持っている人材の確保が必要である。

市町老連における女性・若手リーダーを対象とし、今後の老人クラブの運営・活動の中心的役割が担えるようリーダーを養成する研修会を県下 4 か所でワークショップ方式で開催しました。

「テーマ」

わたしたちの老人クラブのこれからを探ろう！

ファシリテーター

人財養成コーディネーター 浅見真一氏

最初にアイスブレキングで、参加者同士交流ができるようゲームを取入れコミュニケーションを図りました。高齢者や老人クラブが抱える課題を共有し、午後からパネルディスカッションを実施し、グループで話し合い、議論した結果を発表しました。

中村会長挨拶



浅見講師よりワークショップのねらいや進め方について説明



老人クラブの現状と課題

兵庫県老連専務理事
兼事務局長 本山秀治

「将来の日本人口減で起こることや、老人クラブ組織の現状や会員増強運動の総括など老人クラブが抱える課題や問題意識を共有しました。

(中播磨・西播磨ブロックのみ午前中は事例発表)

阪神南・阪神北ブロック

令和元年8月2日(金)
芦屋市民センター
参加者 46名



パネルディスカッション意見

- (これからやったらいいと思う事)
- ・活動内容を広くPRする
 - ・一人暮らし高齢者に声かけ
 - ・地域の交流を深める
 - ・高齢者が外に出られるような活動する
 - ・加入促進を根気よく
 - ・多種目の同好会を通じてコミュニケーションを図る



東播磨・北播磨・淡路ブロック

令和元年7月26日(金)
加古川市総合福祉会館
参加者 68名



パネルディスカッション意見

- (これからやったらいいと思う事)
- ・一人暮らし外出困難の人の見守り・買い物をする。
 - ・仲間づくりを密にする
 - ・集まりの場づくり
 - ・地域のふれあい活動



中播磨・西播磨ブロック

令和元年7月12日(金)
たつの市福祉会館
参加者 56名

◇事例発表者・パネリスト



太子町 窪田啓子



赤穂市 福本俊弘



上郡町 金谷定女

◇パネルディスカッション

- コーディネーター 本山秀治春
- ・他のクラブとの交流を図る
 - ・見守りや買い物支援等
 - ・今までどおりでよい
 - ・趣味のグループ立ち上げ



但馬・丹波ブロック

令和元年7月19日(金)
和山山ジュピターホール
参加者 50名



アイスブレキングでゲームを実施

パネルディスカッション意見

- (これからやったらいいと思う事)
- ・一人暮らしの見守り、声かけ
 - ・子どもとの関わり事業
 - ・子育て応援事業
 - ・地域奉仕活動



